

基本計画の計画事業対比表

1. あらゆる主体が参画しながら、まちづくりを実現していくまち	1
2. すべての人が地域で共に生きていけるまち	3
3. 子どもを共に育むまち	5
5. みどりのネットワークを形成する環境のまち	8
6. 人間優先の基盤が整備された、安全・安心のまち	9
7. 魅力と活力にあふれる、にぎわいのまち	12
8. 伝統・文化と新たな息吹が融合する文化の風薫るまち	13

基本計画の計画事業対比表

1. あらゆる主体が参画しながらまちづくりを実現していくまち

【政策】【審議会】

◎:基幹事業 ○:貢献事業 建:施設建設事業
□:施策間移行事業 △:現行計画事業外から選定された事業 ▲:新規事業

1-1 参加と協働の基盤づくり

施策の方向	事業名	後期事業量
1 地域活動の活性化と連携の促進	1 ○ 町会連合会事業への補助	・実施事業数 延15事業
	2 ◎ 区政連絡会運営事業	・開催数 51回
	3 ◎ 区民活動支援のための事業補助	・交付件数 延385件
	□ 4 ◎ 区民集会所管理運営事業	・利用率 49.40%
	5 ○ 町会活動活性化支援事業	・町会掲示板 改築90基 修繕・移設200基
2 協働の仕組みづくり	□ 1 ◎ 区民活動センター管理運営	・登録団体 50団体 ・施設利用数 延3,500件 ・相談件数 延1,500件
3 地域住民相互の交流の促進 (重点施策)	1 ◎ 地域区民ひろばの推進	・実施地区数 22地区
	2 ◎ 区民ひろば施設の改修	・実施件数 37件
	3 ◎ 区民ひろば運営協議会はばたき支援事業	・交付地区数 5地区
	4 ◎ 地域区民ひろば運営協議会活動支援補助金	・交付地区数 18地区
	5 ◎ 地域区民ひろば自主運営移行モデル事業	・実施地区数 18地区
	□ 6 ◎ 地域協議会モデル事業	・協議会設置数 3か所 ・部会等開催数 延300回

【政策】【審議会後修正】

1-1 参加と協働の基盤づくり

施策の方向	事業名	後期事業量
1 地域活動の活性化と連携の促進	1 ◎ 地域協議会モデル事業	・協議会設置数 5か所 ・部会等開催数 延500回
	2 ◎ 区政協力活動事業 計画に追加	年間活動数 37回
	3 ○ 区政連絡会運営事業	・開催数 121回
	□ 4 ○ 区民集会所管理運営事業	・利用率 50%
2 協働の仕組みづくり	□ 1 ◎ 区民活動センター管理運営	・登録団体 50団体 ・施設利用数 延3,500件 ・相談件数 延1,500件
	2 ◎ 協働推進プロジェクト事業	・講座等開催数延30回 ・参加人数 延1,500人
3 地域住民相互の交流の促進 (重点施策)	1 ◎ 地域区民ひろばの推進	・実施地区数 22地区
	2 ○ 地域区民ひろば施設の改修	・実施件数 37件
	3 ◎ 地域区民ひろば自主運営移行モデル事業	・実施地区数 18地区
	4 ○ 地域区民ひろば運営協議会活動支援補助金	・交付地区数 20地区
	5 ○ 地域区民ひろば運営協議会はばたき支援事業	・交付地区数 9地区

各委員からの「再掲」の取り扱いについての意見を反映させるとともに、各施策の方向における基幹事業の見直しにより変更

1-2 地域力の再生

施策の方向	事業名	後期事業量
1 地域を担う人材・団体の育成 (重点施策)	□ 1 ◎ 協働推進プロジェクト事業	・講座等開催数延30回 ・参加人数 延1,500人
	2 ◎ 区民活動支援のための事業補助【再掲】	・交付件数 延385件
	3 ◎ 区民活動センター管理運営【再掲】	・登録団体 50団体 ・施設利用数 延3,500件 ・相談件数 延1,500件
	4 ◎ 区民ひろば運営協議会はばたき支援事業【再掲】	・交付地区数 5地区
	5 ◎ 地域区民ひろば運営協議会活動支援補助金【再掲】	・交付地区数 18地区
	6 ◎ 地域区民ひろば自主運営移行モデル事業【再掲】	・実施地区数 18地区
2 地域の課題解決力の向上	1 ○ 町会活動活性化支援事業【再掲】	・町会掲示板 改築90基 修繕・移設200基

1-2 地域力の再生

施策の方向	事業名	後期事業量
1 地域を担う人材・団体の育成 (重点施策)	1 ◎ 町会活動活性化支援事業	・町会掲示板 新設170基 改築100基 修繕・移設230基
	□ 2 ◎ 町会連合会事業への補助	・実施事業数 延20事業
	3 ○ 協働推進プロジェクト事業【再掲】	・講座等開催数延30回 ・参加人数 延1,500人
2 地域の課題解決力の向上	1 ◎ 区民活動支援のための事業補助	・交付件数 延425件
	2 ○ 地域協議会モデル事業【再掲】	・協議会設置数 5か所 ・部会等開催数 延500回

4-1 多様性を尊重し合えるまち
①多文化共生の推進へ移行

4-1 多様性を尊重し合えるまち
①多文化共生の推進へ移行

計画事業の追加

1-1-1 地域活動の活性化と連携の促進

1-1-1-2	基幹	区政協力活動事業
【事業内容】町会が行う区政情報の周知、リサイクル・清掃活動、地域コミュニティの活性化に資する活動について活動経費を助成し、区と町会が対等な関係のもとに、住みやすいまちづくりを促進する。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
		年間活動数 37回
事業費		64,635

追加理由

各委員からの「再掲」の取り扱いについての意見を受け、各「施策の方向」における基幹事業の見直しを行ったところ、町会が行う各種活動経費に対する助成を行う本事業が基幹事業としてふさわしいと判断したため。

基本計画の計画事業対比表

2. すべての人が地域で共に生きていけるまち

【政策】【審議会案】

◎:基幹事業 ○:貢献事業 建:施設建設事業
□:施策間移行事業 △:現行計画事業外から選定された事業 ▲:新規事

2-1 地域福祉の推進

施策の方向		事業名		後期事業量
1 福祉コミュニティの形成	1	○	見守りと支え合いネットワーク事業	・見守り実施者数680人 ・協力員実働者数520人
	3	◎	地域保健福祉計画の改定	・区民意向・意識調査結果(有効回収率) 45% ・計画冊子作成 2,400部
	4	○	社会福祉協議会助成事業	・会員数 延50,000人
	5	◎	保健福祉審議会の運営	・審議会開催数22回 ・専門委員会開催数22回
	9	○	障害者自立支援協議会の運営	・協議会開催数(部会含む) 100回
	10	◎	一人暮らし高齢者等実態調査及びアウトリーチ事業	・推進
	2 地域ケアシステムの構築 (重点施策)	1	○	閉じこもりうつ対策・訪問支援事業<<一部介護保険事業会計>>
4		◎	民生・児童委員事業	・民生児童委員数 延1,260人 ・相談等活動 435,000件 ・協議会等開催 365回
8		◎	地域包括支援センターの運営	・運営延べ40か所
14		○	コミュニティソーシャルワーク事業運営費助成	・実施圏域数 8圏域
17		◎	認知症介護者等支援事業	・介護教室80回

【政策】【審議会後修正】

2-1 地域福祉の推進

施策の方向		事業名		後期事業量	
1 福祉コミュニティの形成	1	○	見守りと支え合いネットワーク事業	・見守り実施者数680人 ・協力員実働者数520人	
	3	◎	地域保健福祉計画の改定	・区民意向・意識調査結果(有効回収率) 45% ・計画冊子作成 2,400部	
	4	○	社会福祉協議会助成事業	・会員数 延50,000人	
	5	◎	保健福祉審議会の運営	・審議会開催数22回 ・専門委員会開催数22回	
	9	○	障害者自立支援協議会の運営	・協議会開催数(部会含む) 100回	
	2 地域ケアシステムの構築 (重点施策)	1	○	閉じこもりうつ対策・訪問支援事業<<一部介護保険事業会計>>	・閉じこもり訪問件数1,000件 ・訪問支援訪問9,000件
		4	◎	民生・児童委員事業	・民生児童委員数 延1,260人 ・相談等活動 435,000件 ・協議会等開催 365回
8		◎	地域包括支援センターの運営	・運営延べ40か所	
14		○	コミュニティソーシャルワーク事業運営費助成	・実施圏域数 8圏域	
16		◎	一人暮らし高齢者等アウトリーチ事業	・推進	
17		◎	認知症介護者等支援事業	・介護教室80回	

後藤委員意見:「2-1-2 地域ケアシステムの構築に該当するのではないか」を受け、検討のうえ変更及び事業名の変更

基本計画の計画事業対比表

2. すべての人が地域で共に生きていけるまち

【政策】【審議会案】

◎:基幹事業 ○:貢献事業 建:施設建設事業
□:施策間移行事業 △:現行計画事業外から選定された事業 ▲:新規事業

2-3 健康

施策の方向	事業名		後期事業量
1 健康づくりの推進 (重点施策)	1	成人保健対策：健康教育、相談事業	・メタボ予防教室 25回
	6	女性のしなやか健康づくり	・女性の骨太健診 3,000人 ・骨密度測定・教室 10コース80回
	9	食育推進プランの策定	・食育コンクール 5回 ・食育講習会 15回
	11	特定健診・特定保健指導事業	・健診受診者 148,500 ・保健指導利用者 9278
	13	生活習慣病予防健診事業	・健診受診者 1,200
	14	介護老人施設入所者健康診査事業	・健診受診者 3,325
	16	健康チャレンジ！応援団	・カード取得者 1,500 ・抽選会参加者 300
	21	健康プラン推進事業	・会議開催 15回
	22	緊急肝炎ウイルス検査事業	・検査受診者 6,600
	2 がん対策の推進	1	がん検診事業
2		がん対策推進事業	・会議開催 10回

高橋委員意見：「区の最重点課題として取り組むがん対策が重点施策から外れるのはいかがか」を受け、検討のうえ重点施策を変更

【政策】【審議会後修正】

2-3 健康

施策の方向	事業名		後期事業量
1 健康づくりの推進	1	成人保健対策：健康教育、相談事業	・メタボ予防教室 25回
	6	女性のしなやか健康づくり	・女性の骨太健診 3,000人 ・骨密度測定・教室 10コース80回
	9	食育推進プランの策定	・食育コンクール 5回 ・食育講習会 15回
	11	特定健診・特定保健指導事業	・健診受診者 148,500人 ・保健指導利用者 9278人
	13	生活習慣病予防健診事業	・健診受診者 1,200人
	14	介護老人施設入所者健康診査事業	・健診受診者 3,325人
	16	健康チャレンジ！応援団	・カード取得者 1,500人 ・抽選会参加者 300人
	21	健康プラン推進事業	・会議開催 15回
	22	緊急肝炎ウイルス検査事業	・検査受診者 6,600人
	2 がん対策の推進 (重点施策)	1	がん検診事業
2		がん対策推進事業	・会議開催 10回

計画事業の修正

3-2-2 子育て支援サービスの充実

審議会提出案

3-2-2-1	基幹	保育所の運営
【事業内容】保育に欠ける児童を保育し、児童福祉の増進、子育て支援に資する。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
・維持管理 24 園（公設民営 3 園含む）		・維持管理 22 園（公設民営 3 園含む）
事業費	3,827,299	3,828,265

石川委員意見

待機児童が発生しているにもかかわらず、保育所数が減少しているのはどうしたことなのか。

修正後

3-2-2-1	基幹	認可保育所の運営・助成
【事業内容】保育に欠ける児童を保育し、児童福祉の増進、子育て支援に資する。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
区内認可保育所数 33 園（公立 24 園 私立 9 園）		区内認可保育所数 34 園 ※平成 25 年度 認可保育所 1 園開設予定
事業費	10,889,577	13,477,640

修正理由

より充実した保育サービスの展開を目指して、民営化等の手法を効果的に活用し、公立・私立全体で保育の量的拡充と質の向上に取り組んでいくこととしているが、修正前の表記では、ご指摘のとおり全体の保育所数が減少しているように表現されてしまうため、区内認可保育所の運営及び助成について記載することとした。

3-2-3 サービス提供システムの整備

審議会提出案

後期計画事業として未選定

小林委員意見

私立保育園の建替えに対する補助事業については、後期計画事業として選定しないのか。

修正後

3-2-3-新	建設	私立保育園の建替え支援
【事業内容】私立認可保育所である「しいの実保育園」並びに「みのり保育園」の老朽化による建替えに対し、整備経費の一部補助を行う。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
		・補助件数 2 件

修正理由

委員ご指摘の通り、私立保育所施設整備助成事業は、子どもプランおよび保育計画において計画事業として位置づけられていることを踏まえ、後期基本計画の計画事業としても選定することとした。

基本計画の計画事業対比表

2. 子どもを共に育むまち

【政策】【審議会案】

◎:基幹事業 ○:貢献事業 建:施設建設事業
□:施策間移行事業 △:現行計画事業外から選定された事業 ▲:新規事業

3-4 学校における教育

施策の方向	事業名	後期事業量
「生きる力」を育む教育の推進 (重点施策)	4 ◎ 特別支援教育推進事業	特別支援教育 全校実施 特別支援学級数 増設 巡回指導員 増員
	7 ◎ 「確かな学力」育成事業	臨時、非常勤教科指導員派遣 継続 区独自学力調査 小学校3年～6年 中学校1年～3年 みらいチャレンジスクール推進校 増加 読書フェスタ開催回数 年1回
	9 ◎ 「豊かな人間性」育成事業	公開講座開催数 全校実施 スクールカウンセラー派遣 週1回 連合行事・邦楽鑑賞 小学校・中学校 全校実施 移動教室等体験学習 小学校・中学校 全校実施
	10 ◎ 「健やかな心と体」育成事業	体力・運動能力テスト実施校数 全校実施 外部指導員派遣数 年2,000回
	△ 16 ◎ 「教育都市としま」を担う人材育成事業	校内研究実施校 全校実施 教員研修実施 教育研究会研究活動 幼稚園・小学校・中学校
	▲ がんに関する教育の推進	研修 年2回 教材の開発、リーフレットの作成・配付
	▲ 都市型環境教育推進事業	環境教育モデルプラン「できることからはじめよう」、 「としま緑の環境教育」を活用した系統的、計画的な 環境教育 全校実施
2 魅力ある学校づくり	1	
	4	
	9	
	10	
	11	
	△ 12 ◎ 教育委員会運営事業	教育委員会開催 年28回
	□ 13 ◎ 学校運営連絡協議会事業	学校運営連絡協議会 各校・園 年3回
	14 ○ 教育事務の点検評価事業	点検・評価委員会開催 年6回
15 ○ 小規模校支援事業	授業づくり支援員派遣 4校	

【政策】【審議会後修正案】

3-4 学校における教育

施策の方向	事業名	後期事業量	
「生きる力」を育む教育の推進 (重点施策)	4 ◎ 特別支援教育推進事業	特別支援教育 全校実施 特別支援学級数 増設 巡回指導員 増員	
	7 ◎ 「確かな学力」育成事業	臨時、非常勤教科指導員派遣 継続 区独自学力調査 小学校3年～6年 中学校1年～3年 読書フェスタ開催回数 年1回	
	9 ◎ 「豊かな人間性」育成事業	公開講座開催数 全校実施 スクールカウンセラー派遣 週1回 連合行事・邦楽鑑賞 小学校・中学校 全校実施 移動教室等体験学習 小学校・中学校 全校実施	
	10 ◎ 「健やかな心と体」育成事業	体力・運動能力テスト実施校数 全校実施 外部指導員派遣数 年2,000回	
2 魅力ある学校づくり	1 ◎ 「次世代文化の担い手」育成事業	NPO法人派遣学校数 10校	
	4 ◎ 魅力ある授業づくり事業	水曜トライアルスクール講師 17名 みらいチャレンジスクール推進校 26校園	
	△ 12 ◎ 「教育都市としま」を担う人材育成事業	校内研究実施校 全校実施 教員研修実施 教育研究会研究活動 幼稚園・小学校・中学校	
	▲ 13 がんに関する教育の推進	研修 年2回 教材の開発、リーフレットの作成・配付	
	▲ 14 都市型環境教育推進事業	環境教育モデルプラン「できることからはじめよう」、 「としま緑の環境教育」を活用した系統的、計画的な環境教育 全校実施	
	△ 15 ◎ 教育委員会運営事業	教育委員会開催 年28回	
	□ 16 ◎ 学校運営連絡協議会事業	学校運営連絡協議会 各校・園 年3回	
	17 ○ 教育事務の点検評価事業	点検・評価委員会開催 年6回	
18 ○ 小規模校支援事業	授業づくり支援員派遣 4校		

各委員からの「魅力ある学校づくり」の構成事業についての意見を反映させたことにより変更

3-4-1-7に統合した事業を分離復活

3-4-1-9に統合した事業を分離復活

以下 3-4-3 3-4-4については審議会案から変更なし

計画事業の追加

3-4-2 魅力ある学校づくり

3-4-2-1	基幹	「次世代文化の担い手」育成事業
【事業内容】芸術・文化関係のNPO法人等から、希望する区立小・中学校、幼稚園に芸術家を派遣し、創造力や表現力、コミュニケーション能力の育成を図る。あわせて、地域の伝統文化を体験する活動等、特色ある学校づくりを進める。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
NPO法人派遣校数 10校(園)		NPO法人派遣校数 10校(園) 日本の伝統文化理解教育実施校 3校
事業費	11,245	13,050

3-4-2-4	基幹	魅力ある授業づくり事業
【事業内容】子どもや地域の実態に応じて、学力や体力の向上等の教育課題について、各小・中学校、幼稚園が特色と魅力のある学校づくりを展開するための「みらいチャレンジスクール支援事業」や「英語・数学・漢字検定」合格を目指す「水曜トライアルスクール」を行う。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
みらいチャレンジスクール推進校 26校(園) 水曜トライアルスクール実施中学校 8校		みらいチャレンジスクール推進校 26校(園) 水曜トライアルスクール実施中学校 8校
事業費	30,523	38,440

追加理由

「3-4-2 魅力ある学校づくり」に対して各委員から、構成事業のあり方についての意見が多数あったため、他事業との統合を予定していた上記2事業について、前期計画から引き続き、対象事業とすることとしたため。

計画事業の修正

3-5-2 学校、家庭及び地域の連携協力

審議会提出案

3-5-2-新	新規	子ども地域活動支援事業
【事業内容】子どもが地域社会の大事な担い手として、おとなと一緒に地域活動に参加できるよう、地域団体等の協力を得ながら、その機会づくりと参加促進の支援等を行う。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
		・参加児童数 延100人

仙浪委員意見

事業について内容はこういったものになるのか。また、参加児童数についても事業量として少ないように見える。

修正後

3-5-2-新	新規	子ども地域活動支援事業
【事業内容】子どもが地域社会の大事な担い手として、おとなと一緒に地域活動に参加できるよう、地域団体等の協力を得ながら、その機会づくりと参加促進の支援等を行う。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
		・地域活動内容の検討および実施 随時 ・参加児童数 延100人

修正理由

本事業は子どもプランの計画事業として位置づけられている新規の計画事業であり、現時点では詳細な事業内容までは未構築である。また、今後施策内容を検討しながら実際の事業を展開していくことによって、参加児童が徐々に増えていくことを想定しているが、委員、会長ご指摘の通り、修正前の表記ではこのことが分かりづらいため、事業構築を後期計画期間中に行っていくことを加えた。

基本計画の計画事業対比表

5. みどりのネットワークを形成する環境のまち

【政策】【審議会案】

◎: 基幹事業 ○: 貢献事業 建: 施設建設事業
□: 施策間移行事業 △: 現行計画事業外から選定された事業 ▲: 新規事業

5-2 環境の保全

施策の方向			事業名	後期事業量
1 都市公害の防止	1	◎	水質・土壌・ダイオキシン対策事業	・井戸水調査回数 延15回 ・大気調査回数 延20回 ・土壌調査回数 延5回
2 低炭素地域社会の実現 (重点施策)	3	◎	エコ住宅普及促進事業	・高効率給湯器助成件数 延500件 ・エコ住宅改修等助成件数 延100件 ・太陽エネルギー機器助成件数 延600件 ・見本市来場者 延2,500人
	10	◎	環境基本計画の推進・改定	・環境年次報告の発行 延5回 ・環境審議会の開催 延6回
	17	◎	中小規模事業者等CO2削減円滑化事業	・中小規模事業者等CO2削減円滑化支援事業調査 ・省エネ設備助成 延10件
	19	◎	エコ事業者普及促進事業	・高効率給湯器導入助成 延65件 ・太陽光発電導入助成 延15件
3 環境まちづくり	2	○	身近な環境配慮行動支援事業	・緑のカーテン取組み施設 延350施設
	12	○	クールシティ推進事業	・池袋クールシティ推進協議会の開催 延10回
	15	○	子ども環境教育推進事業	・ヤゴ救出作戦実施校 延110校 ・エコライフフェア参加者 延5,000人 ・子ども環境教育省エネ診断受診件数 延125件 ・子ども環境教育検討会議参加者 延100人
4 地域美化の推進	1	○	環境美化事業	・ごみゼロデー参加者数 延55,000人 ・落書きなくし隊 延20回
	▲		路上喫煙者対策事業	・パトロールの実施 通年 ・喫煙マナーアップキャンペーン 延185回 ・路上啓発シールの貼付 区内全エリア

【政策】【審議会後修正案】

5-2 環境の保全

施策の方向			事業名	後期事業量
1 都市公害の防止	1	◎	水質・土壌・ダイオキシン対策事業	・井戸水調査回数 延15回 ・大気調査回数 延20回 ・土壌調査回数 延5回
2 低炭素地域社会の実現 (重点施策)	3	◎	エコ住宅普及促進事業	・高効率給湯器助成件数 延500件 ・エコ住宅改修等助成件数 延100件 ・太陽エネルギー機器助成件数 延600件 ・見本市来場者 延2,500人
	10	◎	環境基本計画の推進・改定	・環境年次報告の発行 延5回 ・環境審議会の開催 延6回
	17	◎	中小規模事業者等CO2削減円滑化事業	・中小規模事業者等CO2削減円滑化支援事業調査 ・省エネ設備助成 延10件
	19	◎	エコ事業者普及促進事業	・高効率給湯器導入助成 延65件 ・太陽光発電導入助成 延15件
3 環境まちづくり		◎	新たな公共交通システムによる交通戦略調査 【6-1-3-13 再掲】	・LRT基本計画策定 1件
	2	○	身近な環境配慮行動支援事業	・緑のカーテン取組み施設 延350施設
	12	○	クールシティ推進事業	・池袋クールシティ推進協議会の開催 延10回
4 地域美化の推進	15	◎	子ども環境教育推進事業	・ヤゴ救出作戦実施校 延110校 ・エコライフフェア参加者 延5,000人 ・子ども環境教育省エネ診断受診件数 延125件 ・子ども環境教育検討会議参加者 延100人
	1	○	環境美化事業	・ごみゼロデー参加者数 延55,000人 ・落書きなくし隊 延20回
	▲		路上喫煙者対策事業	・パトロールの実施 通年 ・喫煙マナーアップキャンペーン 延185回 ・路上啓発シールの貼付 区内全エリア

第六回審議会
後藤委員発言
低炭素社会の実現において、CO₂低減に交通体系の見直しは不可欠であり、再掲でもよいので検討している事業はあるか。

第六回審議会
原田会長発言
「環境まちづくり」で基幹事業がない。基幹がないと事業がまわらないのではないか。

基本計画の計画事業対比表

6. 人間優先の基盤が整備された、安全・安心のまち

【政策】【審議会案】

◎: 基幹事業 ○: 貢献事業 建: 施設建設事業
□: 施策間移行事業 △: 現行計画事業外から選定された事業 ▲: 新規事業

6-2 魅力ある都心居住の場づくり

【政策】【審議会後修正案】

6-2 魅力ある都心居住の場づくり

施策の方向	事業名		後期事業量
1 安心な住まいづくり (重点施策)	2	○ 高齢者等の入居支援事業	・情報提供 延210件 ・身元保証 延75件
	4	建 高齢者向け優良賃貸住宅の整備	・家賃助成 延461件
	7	◎ 子育てファミリー世帯への家賃助成事業	・家賃助成 延876件
	8	◎ 高齢者世帯等住み替え家賃助成事業	・家賃助成 延434件
2 良質な住宅ストックの形成	1	○ 分譲マンション建替え・改修支援事業	・アドバイザー派遣件数 延25件
	6-4 災害に強いまちづくりの推進 ③災害に強い都市空間の形成 へ移行		

第七回審議会
小林委員発言
区営住宅等について後期計画事業外とされているのは、家賃が高くて大変な人たちにとっては要求に沿っていない。

施策の方向	事業名		後期事業量
1 安心な住まいづくり (重点施策)	1	○ 区営住宅等維持管理事業	・区営住宅 221戸(平成27年度) ・区営・区立福祉住宅 253戸(平成27年度)
	2	○ 高齢者等の入居支援事業	・情報提供 延210件 ・身元保証 延75件
	4	建 高齢者向け優良賃貸住宅の整備	・家賃助成 延461件
	7	◎ 子育てファミリー世帯への家賃助成事業	・家賃助成 延876件
2 良質な住宅ストックの形成	8	◎ 高齢者世帯等住み替え家賃助成事業	・家賃助成 延434件
	1	○ 分譲マンション建替え・改修支援事業	・アドバイザー派遣件数 延25件
6-4 災害に強いまちづくりの推進 ③災害に強い都市空間の形成 へ移行			

計画事業の修正

6-2-1 安心な住まいづくり

審議会提出案

後期計画事業として未選定

小林委員意見

区営住宅等について後期計画事業外とされているのは、家賃が高くて大変な人たちにとっては要求に沿っていないのではないかと。

修正後

6-2-1-1 貢献		区営住宅等維持管理事業
【事業内容】区民各層の様々なニーズに応じた賃貸住宅を管理し、安全で快適な住宅及び良好な住環境を確保して、区民共有のセーフティネットとして有効に機能することを目的とする。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
区営住宅 221戸（平成22年度）		区営住宅 221戸（平成27年度）
区営・区立福祉住宅 253戸（平成22年度）		区営・区立福祉住宅 253戸（平成27年度）
事業費	1,916,343	1,868,790

修正理由

継続的に実施していく必要がある事業であるが、維持管理事業であるため、当初、後期計画事業の対象から外していた。しかし、区民のセーフティネットの役割を果たす事業であることから後期計画事業として存続することとした。

計画事業の修正

6-4-1 防災行動力の向上と連携

審議会提出案

6-4-1-5	基幹	駅周辺混乱防止対策
【事業内容】大規模災害の発生時に駅周辺で予想される大量の滞留者の混乱防止を図るため、駅周辺の事業者等と協議会を設置し、対策を検討するとともに、訓練を実施する。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
		<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催 随時 ・訓練実施 延5回
事業費		11,455

高橋委員意見

本事業は「池袋ルール」といったマニュアルを策定しながらやっているものと理解しているが、ルール化については具体的に後期事業として掲載しないのか。

修正後

6-4-1-5	基幹	駅周辺混乱防止対策
【事業内容】大規模災害の発生時に駅周辺で予想される大量の滞留者の混乱防止を図るため、駅周辺の事業者等と協議会を設置し、「池袋ルール」の策定や情報収集及び提供方法の確保等の対策を検討するとともに、訓練を実施する。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
		<ul style="list-style-type: none"> ・ルール等検討の協議会の運営 延20回 ・訓練実施 延5回
事業費		11,455

修正理由

ルール策定等の内容については、当初、協議の具体的内容のひとつであるため記載をしなかったが、訓練を重ねながらより良いものになるよう協議会で検討を実際に行っていくことから、ご指摘のとおり、事業内容・事業量に具体的に掲載することとした。

基本計画の計画事業対比表

7. 魅力と活力にあふれる、にぎわいのまち

【政策】【審議会案】

◎:基幹事業 ○:貢献事業 建:施設建設事業
□:施策間移行事業 △:現行計画事業外から選定された事業 ▲:新規事業

7-2 産業振興による都市活力創出

施策の方向			事業名	後期事業量
1 新たなビジネス展開の支援	1	○	創業起業推進事業	・講座等回数延30回 参加者数延1,100人
	2	◎	としまビジネスサポート事業(セミナー事業)	・講座数延26回 参加者数延1,600人
2 地域産業の活性化(重点施策)	1	◎	中小企業支援事業	・補助件数延600件
	3	◎	区内公衆浴場支援	・改修補助金件数延150件 ・経営改善費助成金件数165件 ・ガス燃料化補助浴場数延115浴場
	6	◎	空き店舗対策事業	・補助金交付件数延10件 20,000千円
	8	◎	としまビジネスサポート事業(相談事業)	・相談件数20,000件
	12	○	としまものづくりメッセ	・参加企業数延500企業 ・来場者数延90,000人
	21	◎	商店街電灯料補助事業	・補助団体数延465
	25	◎	中小商工業融資事業	・融資斡旋件数延5,000件
	27	◎	商店街イベント支援事業	・補助事業数延500
	29	○	就業支援事業	・面接回数延15回 セミナー回数延15回
	3 消費者権利の実現支援	1	◎	消費者被害防止啓発事業(消費者情報提供及び被害防止事業)
2		◎	消費生活相談事業	・相談件数延11,500件
3		◎	消費者教育事業	・講座回数90回

小林委員意見:「再掲先では基幹事業になっているが、本体部分が貢献事業では基準がわかりにくい」を受け、検討のうえ本体事業を基幹事業に変更。

7. 魅力と活力にあふれる、にぎわいのまち

【政策】【審議会後修正】

7-2 産業振興による都市活力創出

施策の方向			事業名	後期事業量
1 新たなビジネス展開の支援	1	○	創業起業推進事業	・講座等回数延30回 参加者数延1,100人
	2	◎	としまビジネスサポート事業(セミナー事業)	・講座数延26回 参加者数延1,600人
2 地域産業の活性化(重点施策)	1	◎	中小企業支援事業	・補助件数延600件
	3	◎	区内公衆浴場支援	・改修補助金件数延150件 ・経営改善費助成金件数165件 ・ガス燃料化補助浴場数延115浴場
	6	◎	空き店舗対策事業	・補助金交付件数延10件 20,000千円
	8	◎	としまビジネスサポート事業(相談事業)	・相談件数20,000件
	12	◎	としまものづくりメッセ	・参加企業数延500企業 ・来場者数延90,000人
	21	◎	商店街電灯料補助事業	・補助団体数延465団体
	25	◎	中小商工業融資事業	・融資斡旋件数延5,000件
	27	◎	商店街イベント支援事業	・補助事業数延500事業
	29	○	就業支援事業	・面接回数延15回 セミナー回数延15回
	3 消費者権利の実現支援	1	◎	消費者被害防止啓発事業(消費者情報提供及び被害防止事業)
2		◎	消費生活相談事業	・相談件数延11,500件
3		◎	消費者教育事業	・講座回数90回

基本計画の計画事業対比表

8. 伝統・文化と新たな息吹が融合する文化の風薫るまち

【政策】【審議会案】

◎: 基幹事業 ○: 貢献事業 建: 施設建設事業
□: 施策間移行事業 △: 現行計画事業外から選定された事業 ▲: 新規事業

8-1 文化によるまちづくりの推進

施策の方向	事業名			後期事業量
1 文化によるまちの活性化 (重点施策)		2	○ 文化資源の保護と活用事業	・普及啓発事業参加者数 6,000人 ・文化財展示、文化財講座、文化財刊行物発行
		18	◎ (仮称) 西部地域複合施設文化拠点準備事業	・委員会開催年4回 平成26年度開設予定
		23	○ 「池袋演劇祭」助成事業	・来場者数延292,500人 ・参加劇場数延80劇場 ・参加演目数延250
		24	○ 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館事業	・開催会場延200会場 ・参加団体延195団体
		25	○ 「フェスティバル/トーキョー」開催助成事業	・掲載記事数延1,000件 ・演目数延75回
2 新たな芸術・文化の創出と創造環境の整備				
		6	◎ 舞台芸術交流センター管理運営	・年間劇場稼働率95% ・年間劇場集客数65,000人 ・年間会議室稼働率75%
		7	◎ 文化芸術創造支援事業	・稽古場応募件数延570件 ・にしがも創造舎内ワークショップ開催回数260回
3 地域文化・伝統文化の継承と発展		1	◎ 雑司が谷旧宣教師館の管理運営事業	・開館日数1,337日・イベント回数100回・来館者数70,000人
		2	◎ 郷土資料館の管理・運営	・開館日数1,184日・イベント回数50回・来館者数75,000人
		3	◎ 伝統工芸振興事業	・伝統工芸展開催5回 来場者数延7,500人 ・伝統工芸団体への助成金交付件数5件 5,000千円
		4	○ としま区民芸術祭実施助成(民俗芸能inとしま)事業	・公演回数5回 来場者数延3,340人
		5	◎ 郷土資料館区民利用の情報基盤の整備	・(仮称)西部地域複合施設への移転に合わせデータベースを公開する。
		▲	旧鈴木信太郎邸の保存・活用	・文化財調査、保存改修工事、公開・活用

8. 伝統・文化と新たな息吹が融合する文化の風薫るまち

【政策】【審議会後修正】

8-1 文化によるまちづくりの推進

施策の方向	事業名			後期事業量
1 文化によるまちの活性化 (重点施策)		2	○ 文化資源の保護と活用事業	・普及啓発事業参加者数 6,000人 ・文化財展示、文化財講座、文化財刊行物発行
		18	◎ (仮称) 西部地域複合施設文化拠点準備事業	・委員会開催年4回 平成26年度開設予定
		23	○ 「池袋演劇祭」助成事業	・来場者数延292,500人 ・参加劇場数延80劇場 ・参加演目数延250演目
		24	○ 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館事業	・開催会場延200会場 ・参加団体延195団体
		25	○ 「フェスティバル/トーキョー」開催助成事業	・掲載記事数延1,000件 ・演目数延7演目
	▲	新公会堂のあり方検討	・新公会堂あり方検討会等の開催	
2 新たな文化芸術の創出と創造環境の整備			大沼委員意見:「公会堂の整備についての文言は入らないのか。」を受け、「新公会堂のあり方検討」を計画事業に追加。	
		6	◎ 舞台芸術交流センター管理運営	・年間劇場稼働率95% ・年間劇場集客数65,000人 ・年間会議室稼働率75%
		7	◎ 文化芸術創造支援事業	・稽古場応募件数延570件 ・にしがも創造舎内ワークショップ開催回数260回
3 地域文化・伝統文化の継承と発展		1	◎ 雑司が谷旧宣教師館の管理運営事業	・開館日数1,337日・イベント回数100回・来館者数70,000人
		2	◎ 郷土資料館の管理・運営	・開館日数1,184日・イベント回数50回・来館者数75,000人 ・(仮称)西部地域複合施設への移設
		3	◎ 伝統工芸振興事業	・岡本委員意見: 移設するということであればその他の費用や移設の費用は書く必要がないか」を受け、事業内容に「(仮称)西部地域複合施設への移設」を追加記載
		4	○ としま区民芸術祭実施助成(民俗芸能inとしま)事業	・公演回数5回 来場者数延3,340人
		5	◎ 郷土資料館区民利用の情報基盤の整備	・(仮称)西部地域複合施設への移転に合わせデータベースを公開する。
		▲	旧鈴木信太郎邸の保存・活用	・文化財調査、保存改修工事、公開・活用

基本計画の計画事業対比表

8. 伝統・文化と新たな息吹が融合する文化の風薫るまち

【政策】【審議会案】

8-3 生涯学習・生涯スポーツの推進

◎:基幹事業 ○:貢献事業 建:施設建設事業
□:施策間移行事業 △:現行計画事業外から選定された事業 ▲:新規事業

施策の方向	事業名	後期事業量
1 生涯学習の環境整備	2 ◎ 地域図書館の図書資料収集貸出事業	・図書貸出冊数7,300,000冊
	3 ◎ 中央図書館の図書資料収集貸出事業	・図書貸出冊数4,375,000冊
	4 ◎ 点字図書館障害者サービス事業	・利用登録者数1,065人
	5 ◎ 地域文化創造館運営事業	・登録団体数 年平均670団体
	6 ○ 図書館電算システムの維持管理	・ホームページコンテンツ更新回数350回 ・ICタグ導入 3館
	9 建 生涯学習センターの整備	・エアコン設置、防音室整備 旧大明小耐震・内部改装、外構工事
	18 ○ みみずく資料館の運営	・開館日 年100日 ・入館者数 年2,500人
	31 建 南大塚地域文化創造館大規模改修(旧名南大塚ホールの改修)	・大規模改修
	▲ ボランティア人材バンク運営事業	・ボランティア登録者数延240人 ・あっせん件数285件
	2 個の学びから社会的な学習活動への転換	1 ◎ 大学との協働による「としまコミュニティ大学」
▲ 生涯学習センター運営モデル事業		・モデル事業実施
3 スポーツ・レクリエーション活動の充実 (重点施策)	1 ◎ スポーツ施設の管理運営	・利用者数延3,780,000人
	4 建 (仮称)南長崎中央公園の整備	・屋内体育施設工事 ・屋外施設実施設計 ・造園工事
	△ 9 ○ スポーツ・レクリエーション活動の振興	・大会参加者 延175,000人
	10 ○ ジュニア育成・シニアスポーツ振興事業	・イベント回数 延111回

澤野委員意見:「生涯学習で個の学びからどういう風に社会的な学習活動へ転換していくかが課題になっている。ボランティア人材バンクは学習成果をどう社会的に活かすかということで、施策の方向は『個の学びから社会的な学習活動への転換』の方がいいのではないか。」を受け、施策の方向を変更。

8. 伝統・文化と新たな息吹が融合する文化の風薫るまち

【政策】【審議会後修正】

8-3 生涯学習・生涯スポーツの推進

施策の方向	事業名	後期事業量
1 生涯学習の環境整備	2 ◎ 地域図書館の図書資料収集貸出事業	・図書貸出冊数7,300,000冊
	3 ◎ 中央図書館の図書資料収集貸出事業	・図書貸出冊数4,375,000冊
	4 ◎ 点字図書館障害者サービス事業	・利用登録者数1,065人
	5 ◎ 地域文化創造館運営事業	・登録団体数 年平均670団体
	6 ○ 図書館電算システムの維持管理	・ホームページコンテンツ更新回数350回 ・ICタグ導入 3館
	9 建 生涯学習センターの整備	・エアコン設置、防音室整備 旧大明小耐震・内部改装、外構工事
	18 ○ みみずく資料館の運営	・開館日 年100日 ・入館者数 年2,500人
	31 建 南大塚地域文化創造館大規模改修(旧名南大塚ホールの改修)	・大規模改修
	▲ ボランティア人材バンク運営事業	・ボランティア登録者数延240人
	2 個の学びから社会的な学習活動への転換	1 ◎ 大学との協働による「としまコミュニティ大学」
▲ 生涯学習センター運営モデル事業		・モデル事業実施
3 スポーツ・レクリエーション活動の充実 (重点施策)	1 ◎ スポーツ施設の管理運営	・利用者数延3,780,000人
	4 建 (仮称)南長崎中央公園の整備	・屋内体育施設工事 ・屋外施設実施設計 ・造園工事
	△ 9 ○ スポーツ・レクリエーション活動の振興	・大会参加者 延175,000人
	10 ○ ジュニア育成・シニアスポーツ振興事業	・イベント回数 延111回

・レクリエーション活動の充実(重点施策)

計画事業の修正

審議会提出案

8-1-3 地域文化・伝統文化の継承と発展

8-1-3-2	基幹	郷土資料館の管理・運営
【事業概要】 区民及び来館者に豊島区の歴史、文化を紹介し理解を深めていただくために、豊島区に関する貴重な郷土資料を収集・整理・保存するとともに、調査・研究・展示、講座の開催、刊行物の発行を行う。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
・開館日数 1,247 日・イベント回数 49 回・来館者数 72,114 人		・開館日数 1,184 日・イベント回数 50 回・来館者数 75,000 人
事業費	96,236	163,785

岡本委員意見

前期と後期を比べると事業費が 1.5 倍以上になっているが、移設するというのであればその他の費用とか移設の費用等を記載する必要がないか。

修正後

8-1-3 地域文化・伝統文化の継承と発展

8-1-3-2	基幹	郷土資料館の管理・運営
【事業概要】 区民及び来館者に豊島区の歴史、文化を紹介し理解を深めていただくために、豊島区に関する貴重な郷土資料を収集・整理・保存するとともに、調査・研究・展示、講座の開催、刊行物の発行を行う。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
・開館日数 1,247 日・イベント回数 49 回・来館者数 72,114 人		・開館日数 1,184 日・イベント回数 50 回・来館者数 75,000 人 ・（仮称）西部地域複合施設への移設
事業費	96,236	163,785

修正理由

岡本委員のご指摘のとおり、後期事業費増理由を記載することが望ましいため、後期事業量に「（仮称）西部地域複合施設への移設」を追加記載する。

審議会提出案

8-1-2 新たな芸術・文化の創出と創造環境の整備

2	基幹	文化芸術創造支援事業
【事業概要】 旧朝日中学校をアート系 NPO 法人に貸与し、文化発信拠点として活用する。芸術・文化活動の活性化と創造環境の整備を通じて、地域社会の活力向上を図る。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
・稽古場利用応募件数延 641 件 ・にしすがも創造舎内ワークショップ開催回数 332 回		・稽古場応募件数延 570 件 ・にしすがも創造舎内ワークショップ開催回数 260 回
事業費	47,655	10,812

原田会長意見

事業量が同程度で前期事業費に比べ後期事業費が低い場合も区民にわかりやすいように表現を検討してください。

修正後

8-1-2 新たな文化芸術の創出と創造環境の整備

2	基幹	文化芸術創造支援事業
【事業概要】 旧朝日中学校をアート系 NPO 法人に貸与し、文化発信拠点として活用する。芸術・文化活動の活性化と創造環境の整備を通じて、地域社会の活力向上を図る。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
・稽古場利用応募件数延 641 件 ・にしすがも創造舎内ワークショップ開催回数 332 回 ・施設改修		・稽古場応募件数延 570 件 ・にしすがも創造舎内ワークショップ開催回数 260 回
事業費	47,655	10,812

修正理由

後期事業費に比べ前期事業費が高い理由を記載した方が区民にわかりやすいため、前期事業量に「施設改修」を追加記載する。

審議会提出案

8-3-1 生涯学習の環境整備

8-3-1-新	新規	ボランティア人材バンク運営事業
【事業概要】 本の読み聞かせ養成講座により一定の技術や知識を習得したボランティアを人材バンクへ登録・あっせんする。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
		・ボランティア登録者数 延 240 人 ・あっせん件数 285 件

澤野委員意見

①生涯学習で施策の方向として個の学びからどういう風に社会的な学習活動へ転換していくかが課題になっている。ボランティア人材バンクは学習成果をどう社会的に活かすか、ということで生まれてくるので、施策の方向は『個の学びから社会的な学習活動への転換』の方がいいのではないかと。

②ボランティアの種類を広げた方がいいと思うが、読み聞かせに限定されるものか。事業量であっせん数 285 件の、根拠は何なのか。

修正後

8-3-2 個の学びから社会的な学習活動への転換

8-3-2-新	新規	ボランティア人材バンク運営事業
【事業概要】 本の読み聞かせ養成講座等により一定の技術や知識を習得したボランティアを人材バンク等へ登録し、活動を支援する。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
		・ボランティア登録者数 延 280 人

修正理由

澤野委員のご指摘のとおり、ボランティア人材バンクの活用は個の学びを社会的活動に転換するものであるため、施策の方向を「8-3-2 個の学びから社会的な学習活動への転換」へ変更する。

人材バンクについてはより幅広く取り組んでいくため、事業概要を一部変更した。あっせん件数については現在人材バンク事業の構築中で正確に事業量を見込めないため、実施計画の中で毎年度設定することとし、基本計画の事業量からは削除する。

審議会提出案

新公会堂について文化分野での記載なし。

大沼委員意見

公会堂に関して前回の新庁舎の計画を立てた時には審議会のようなものを作ったと思うが、今回そのような手法は取らないのか。公会堂の整備についての文言は入らないのか。

修正後

8-1-1 文化によるまちの活性化

8-1-1-新	新規	新公会堂のあり方検討
【事業概要】 庁舎移転後の再整備に伴い、新たな区民の文化芸術活動拠点としての新公会堂のあり方を検討する。		
前期事業量（18～22）		後期事業量（23～27）
		新公会堂あり方検討会等の開催。

修正理由

今後、庁舎移転後の現庁舎地の活用の中で、どのような新公会堂を整備するか検討が必要になるため、文化分野に「新公会堂のあり方検討」を計画事業として追加する。